

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	道路附帯施設補修事業	事業番号	11670	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	道路利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	老朽化などにより危険性の高い道路附帯施設などの整備、維持補修の実施。 事業概要:道路法面、防護柵、街路灯、雨水排水の整備や補修など	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	老朽化した道路施設に起因する重大な事故がないよう適正な維持補修を行い、道路利用者の安全を確保する。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	道路附帯施設整備済箇所数	0件	2件	4件	5件	6件		5件	10件
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			9,490		9,126		10,750		
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他		9,490		9,126		8,100		
	一般財源		0		0		2,650		
人員(人工)			0.05		0.05		0.05		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)			384		384		384		
総事業費(=事業費+職員人件費)			9,874		9,510		11,134		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			1,646		1,585				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	平成24年12月に発生した笹子トンネルの天井板崩落事故や老朽化に伴う道路橋崩壊(H19アメリカ)など、道路施設による第三者被害を防止することが国からも求められているため、事業の必要性や市民ニーズはあると考えている。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 各事業内容は、市民要望に基づき大雨対策や利便性の向上など附帯施設の補修(改修)を行うことで問題を解決するものであり、安全に係る道路附帯施設の修繕及び改築の効果は有効に発揮されている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 道路法16条「市町村道の管理」及び第42条「道路の維持又は修繕」により、道路管理者が行う必要があるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 道路管理者として道路施設の最低限必要な事業であるため。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアがありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 公共事業で工法や単価等の適正化が求められるため。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 道路管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	舗装新設事業	事業番号	12029	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	道路利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	日常生活に密着した生活道路について、道路改良等を実施し生活の利便性・安全性の向上に寄与する。 事業概要:歩車道の路盤改良及びアスファルト舗装工事(現道拡幅等を含む)	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	安全な交通環境の確保により、市民生活の利便性の向上を図る。 具体的には、道路網として幹線道路との接続(利便性)、災害時の避難用道路の確保など。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	舗装道路総延長(m)	130,565m	130,634m	132,323m	133,867m	132,796m		132,200m	135,520m
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)			H30予算		H30決算		H31予算		
			173,674		146,164		164,035		
内訳	国道支出金		54,000		46,569		52,047		
	地方債		119,100		99,100		109,500		
	その他								
	一般財源		574		495		2,488		
人員(人工)			0.52		0.52		0.52		
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)			3,993		3,993		3,993		
総事業費(=事業費+職員人件費)			177,667		150,157		168,028		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)			-		-				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☒ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	根室市の地勢(浸水する道路が多いこと等)や整備率の低さから市道整備優先順位を明確に見直ることが非常に難しいことから、現状の整備計画に防災の視点を加え事業計画を実施する。
今後の動向・市民ニーズなど	東日本大震災を受け「災害に強いまちづくり」を推進するため、地域の避難用道路として整備を求められてる。また、舗装率が39.8%と全道35市中33位(平均68.6%)と道路整備が立ち遅れている状況から、舗装新設事業に対する市民ニーズが高く、今まで以上に推進する必要がある。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	全道平均の市民サービスを提供するため、更に舗装新設事業の推進(充実)を図る必要がある。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 道路法16条「市町村道の管理」に基づき、道路管理者が新設・改築等を行う必要があるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 全道35市及び根室管内の事業内容を比較して、見直しの必要が無いと判断した。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 公共事業で工法や単価等の適正化が求められるため。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 道路管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり(H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	防雪柵設置事業	事業番号	12414	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	道路利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	老朽化している防雪柵の建替えにより、現在の冬期間の地吹雪による視程障害を低減させるため、吹払式防雪柵の建設工事を実施する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	冬期間の地吹雪による視程障害を解消し、円滑で安心な通行を確保するため。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	防雪柵設置延長				143.5m	378.0m		532.0m	532.0m
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算	
				105,600		60,761		43,000	
内訳	国道支出金				63,360		35,750		16,729
	地方債				42,200		25,000		26,200
	その他								
	一般財源				40		11		71
人員(人工)					0.12		0.12		0.12
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)					921		921		921
総事業費(=事業費+職員人件費)					106,521		61,682		43,921
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)									
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	平成25年3月に道東を襲った暴風雪からの事故などから、冬期間の円滑で安心な通行の確保の要望が多い。

5 事務事業の評価

	☐ 結びついている ☒ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	当事業は現在進捗中であり、一部の完了した区間においては効果が見られるが、全体としての効果はまだ発揮されていない。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 道路法16条「市町村道の管理」に基づき、道路管理者が新設・改修等を行う必要があるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 平成28年度に防雪柵の設計が完了し、平成29年度より事業実施しており、早期に事業を完了させることが事業効果の発揮につながることから見直す必要はない。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 公共事業で工法や単価等の適正化が求められているため。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 道路管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	橋りょう補修事業	事業番号	12478	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	道路利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、平成24年に策定した修繕計画に基づき、H26年～H35までに16橋の補修を行う。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	老朽化していく橋梁を予防的な修繕等により、トータル的な修繕費の縮減を図りつつ、道路網の安全性・信頼性を確保する。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	橋りょう補修済箇所数	1件	1件	1件	1件	2件		8件	8件
2									
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				H30予算		H30決算		H31予算	
				27,000		24,192		38,989	
内 訳	国道支出金			16,200		14,514		23,335	
	地方債			10,800		9,600		15,400	
	その他								
	一般財源			0		78		254	
人員(人工)				0.12		0.12		0.12	
職員人件費（＝人員(人工)×7,679千円）				921		921		921	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				27,921		25,113		39,910	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	平成24年12月に発生した笹子トンネルの天井板崩落事故や老朽化に伴う道路橋崩壊(H19アメリカ)など、道路施設による第三者被害を防止することが国からも求められている(国の重要施策)ため、事業の必要性や市民ニーズはあると考えている。

5 事務事業の評価

	☐ 結びついている ☒ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	平成26年度からの事業で3年目を経過するが、まだ、1橋の補修工事を継続しているため部分的に補修効果は発揮されている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 道路法16条「市町村道の管理」及び第42条「道路の維持管理又は修繕」により、道路管理者が行う必要があるため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 道路管理者として道路構造物の最低限必要な事業であるため。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 公共事業で工法や単価等の適正化が求められるため。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 道路管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり(H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	河川改修事業	事業番号	12195	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	河川敷地に隣接する周辺住民
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	河川改修工事などの治水対策を講じ、自然災害による市民生活に対する被害の未然防止を図り、越水対策の検討や老朽化施設の修繕など実施する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	河川敷地に隣接する周辺住民の安全で快適な生活環境の保全。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	河川改修済箇所数			1件	2件	0件		4件	6件
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算	
				-		-		-	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)									
総事業費(=事業費+職員人件費)									
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)									
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	
今後の動向・市民ニーズなど	大雨や高潮後などによる河川周辺環境が悪化するケースなど、住宅などが近接している状況下での環境保全(維持)を望む市民要望は強く、そのニーズにどこまで対応できるかが、今後の課題となっている。 (管理河川数=165河川)

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	現地状況により、市民の要望する内容や市が実施する対策(対応)が異なる場合も多いが、現状に即した対策を実施していると考ええる。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 環境整備的な内容とした場合、草刈やごみ拾いなども含まれると思うが、河川周辺の住民や各町内会での取組みは可能と思われる。 しかし、現地の状況から怪我など危険性の問題を考える場合は、保険等の加入など整備すべき問題はあと思う。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 河川敷地内の安全確認や環境保全を目的とした事業内容で、現状見直しの必要性は無いと考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 建設的な事業で、その都度最善の工法(事後の維持管理も含め)を検討し実施しており、維持管理などを含めて意識しながら業務を行っているので「工夫済み」と考える。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 河川管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	都市整備課(都市事業担当)			
事務事業名	街路灯LED化事業(旧街路灯建替事業)	事業番号	12771 (12179)	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-9 道路・河川の整備と管理
	施策目標	広域交通ネットワークの形成と社会基盤の充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	道路利用者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	従来、老朽化した街路灯に対応するため、幹線道路付属物(ストック)点検等に基づき対策を必要な箇所の補修を実施しており、平成31年度より、老朽化した街路灯をLED照明へ更新する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	道路利用者への被害の防止及び周辺住民の安全安心を確保する。 また、老朽化した街路灯をLED照明へ更新することにより、ライフサイクルコストの冷徹を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	木柱街路灯建替え及び街路灯補修	69件	86件	165件	187件	191件		191件	191件
2	街路灯LED照明更新数(全2,615基)	-	-	-	-	-		780基	2,020基
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				H30予算		H30決算		H31予算	
				1,100		1,059		11,720	
内訳	国道支出金								
	地方債								
	その他								11,720
	一般財源				1,100		1,059		0
人員(人工)				0.01		0.01		0.17	
職員人件費(=人員(人工)× 7,679 千円)				77		77		1,305	
総事業費(=事業費+職員人件費)				1,177		1,136		13,025	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				6		6			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	平成31年度より、街路灯建替事業から、本事業へ業務継承し、補修更新ではなく、LED照明への更新とし、ライフサイクルコストの低減に繋げる。
今後の動向・市民ニーズなど	道路施設の老朽化による第三者被害の防止及び安心して夜間道路を利用できるものとして必要性が高く日常的にも老朽化や球切れなどに関する市民からの通報が多い。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	老朽化した(木柱)街路灯の建替やストック点検に基づき、危険度や緊急度、重要度から現実に即した対策を実施している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 道路管理者は、道路法第42条により「道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない」定められている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 平成30年度に策定した個別施設計画に基づいた地方債制度を活用する事業となっている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 公共事業で工法や単価等の適正化が求められているため。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 区分して行う事が必要な事業のため。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 道路管理者が行う事業のため。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☒ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☒ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月